iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite H540S

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

energy

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。

■ 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

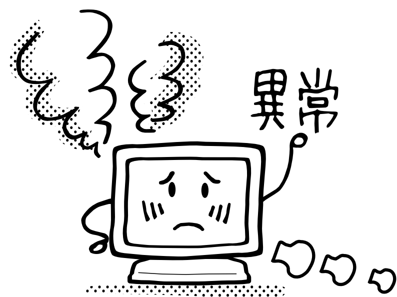
点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

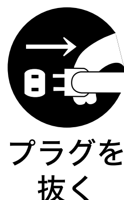
もくじ

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

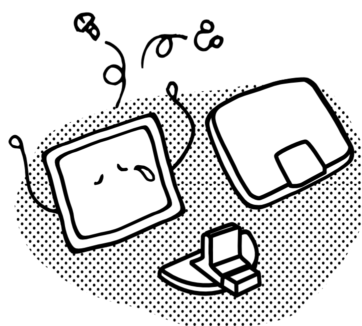
⚠警告





万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

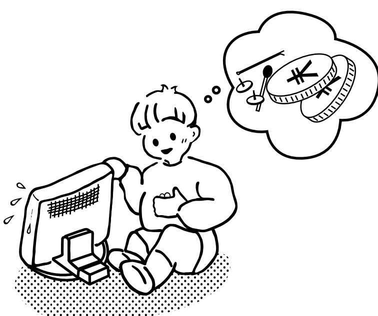


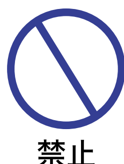


キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。

日本語

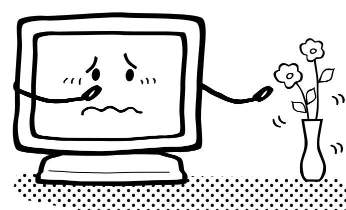




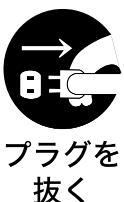


異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



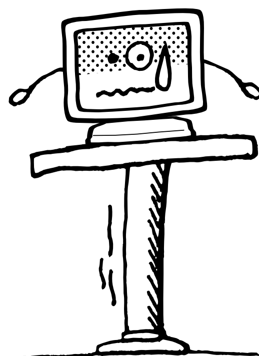




花びんやコップをモニタの近くに置かない

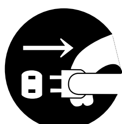
水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告





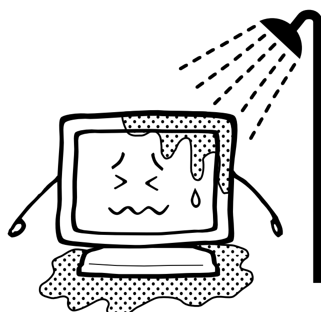
禁止



プラグを抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

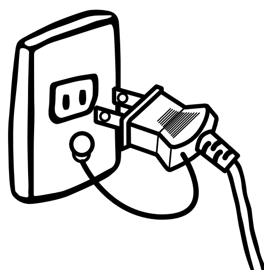


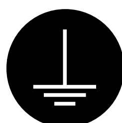


水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。





アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。





禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。





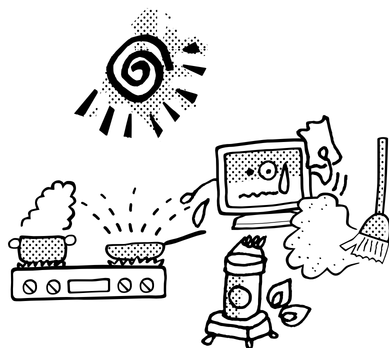
接触禁止

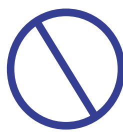
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

日本語

⚠ 注意



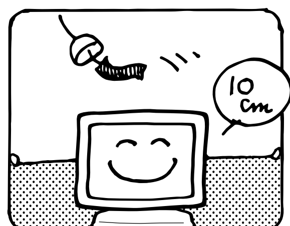


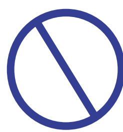
禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

× 湿気やほこりの多い場所
× 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
× 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
× 熱器具の近く





禁止

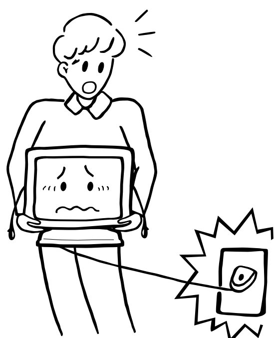
通風孔をふさがない

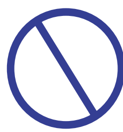
次のような使い方はしないでください。

× チルトスタンドをはずす。
× あお向けや横倒し、逆さまにする。
× 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
× じゅうたんや布団の上に置く。
× テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。

日本語

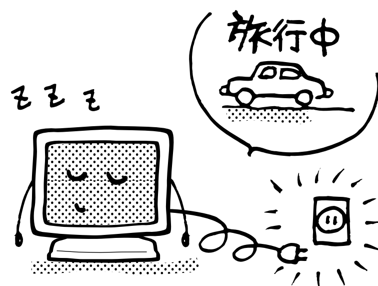




禁止

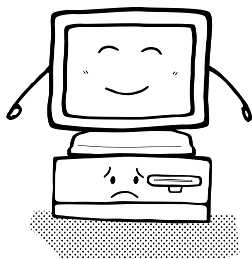
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

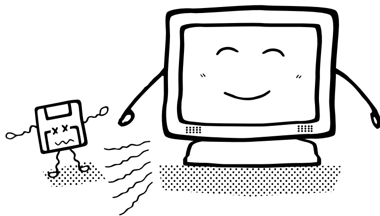
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。





ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

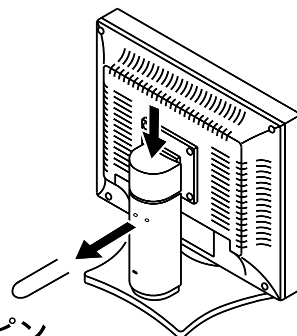
- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されていきますが、改善されないまま前の画像パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
  - ・画面の表示パターンを変える。
  - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
  画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

本製品は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

本製品をご使用になる前に、スタンド後部のストッパーピンを外してください。その際、スタンド内部のバネの反動が生じますので、モニタを立ててスタンド上部を下に押しながら、ゆっくりと外してください。



ストッパーピン

特長

- 54センチ（21.3インチ） TFTカラー液晶モニタ
- 最大1600×1200モードをサポート
- 超広視野角高コントラストパネル採用
- エコノミーモード搭載
  明るさを抑え消費電力を低減できます。
- 多彩なカラーコントロール機能搭載
  国際標準規格sRGBに対応
- ガンマコントロール機能搭載
  動画や自然画を見る際、黒沈みを抑え、メリハリのある画像を表示出来ます。
- デジタルスムージング機能搭載
- 調整の手間を軽減する自動調整機能
- ステレオスピーカー内蔵
  1.0W+1.0W出力のステレオスピーカー内蔵（格納可能）。便利なヘッドホン端子も搭載しています。
- プラグ&プレイ VESA DDC2B対応、Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- 低電磁波・省電力設計
  ProLite H540S：TCO '03, MPRⅢ適合, パワーマネージメント機能搭載
  ProLite H540S-B：TCO '99, MPRⅢ適合, パワーマネージメント機能搭載
- 鮮明な画像を実現するデジタル入力(DVI-I)対応
- USB2.0 ハイスピードハブ機能搭載
- 90゜回転機構搭載
- VESAマウント規格(100mm×100mm)対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード*[1]
■ DVI-D信号ケーブル DV67*[2], DV68*[3]
■ オーディオケーブル AD25
■ インフォメーションCD
■ ユーザー登録のご案内
■ DVI-A信号ケーブル DV62*[2], DV63*[3]
■ USBケーブル SU43
■ ケーブルカバー
■ クイックスタートガイド
■ 試供品：Pivot® & Liquid View® software (CD)
Pivot®: 画面横縦切替ソフトウェア
Liquid View®: アイコン拡大ソフトウェア
CD-ROM内のjapanese.txtを参照してください。

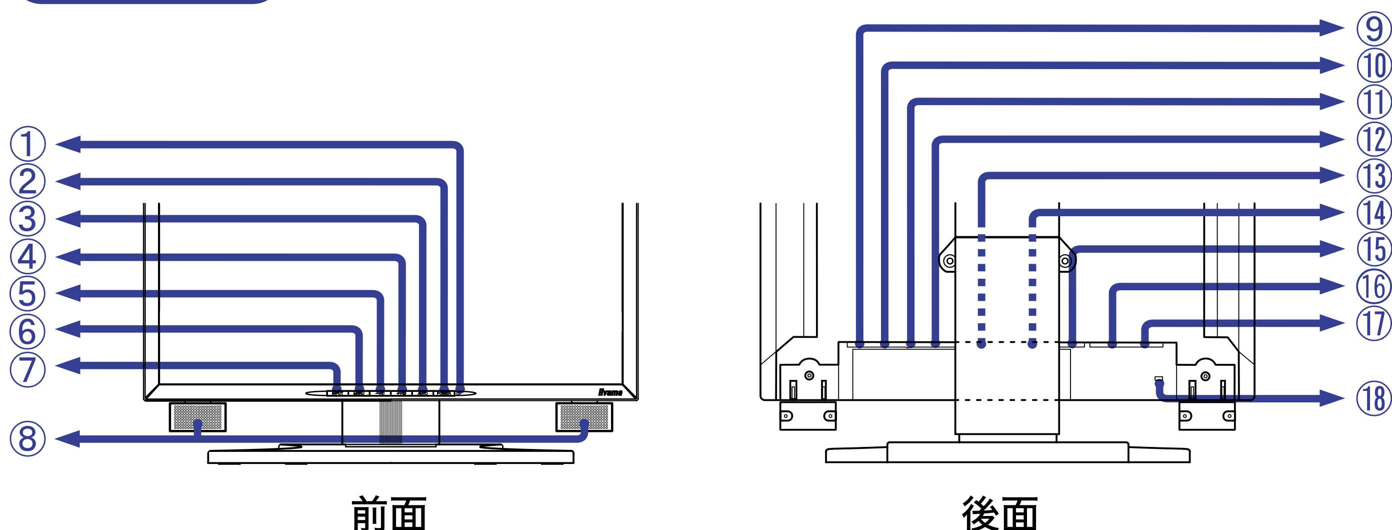
補足 *[1] 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
■付属以外の電源コードをお使いになる場合
■日本以外の国でお使いになる場合
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

*[2] ProLite H540S 付属品

*[3] ProLite H540S-B 付属品

日本語

各部のなまえ



① 電源インジケータ

補足 緑色点灯： 通常動作時（ProLite H540）
青色点灯： 通常動作時（ProLite H540S-B）
橙色点灯： パワーマネージメント時
水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。

② 電源スイッチ（POWER）

③ AUTOボタン（AUTO）

④ プラス／ブライトネス調整ボタン（＋／☼）

⑤ マイナス／コントラスト調整ボタン（－／◑）

⑥ MENUボタン（MENU）

⑦ INPUTボタン（INPUT）

⑧ スピーカー

⑨ USB-UP
付属のUSBケーブルでUSB対応コンピュータと接続します。

⑩ USB-DOWN
USB対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。

⑪ 音声入力コネクタ（AUDIO IN）

⑫ DVI-I 29ピンコネクタ（INPUT 2）

⑬ DVI-I 29ピンコネクタ（INPUT 1）

⑭ オプションビデオアダプタスロット（OPTIONAL VIDEO INPUT）

⑮ ヘッドフォン端子

⑯ 電源コード接続コネクタ（AC IN）

⑰ 主電源スイッチ

⑱ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

日本語

コンピュータとの接続

 警告

■ 安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

 注意

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足

■ 本製品は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ USB2.0が動作する環境がそろっていない場合、USB1.1互換で動作します。

■ パネルを回転させて縦長にすると、ケーブル類が接続しやすくなります。
(P.11「パネルの回転方法」参照)

■ ケーブルは、スタンド後部のカバー内部にまとめることができます。ケーブルの配線方法については次ページを参照してください。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.29「信号入力コネクタのピン配列」参照)

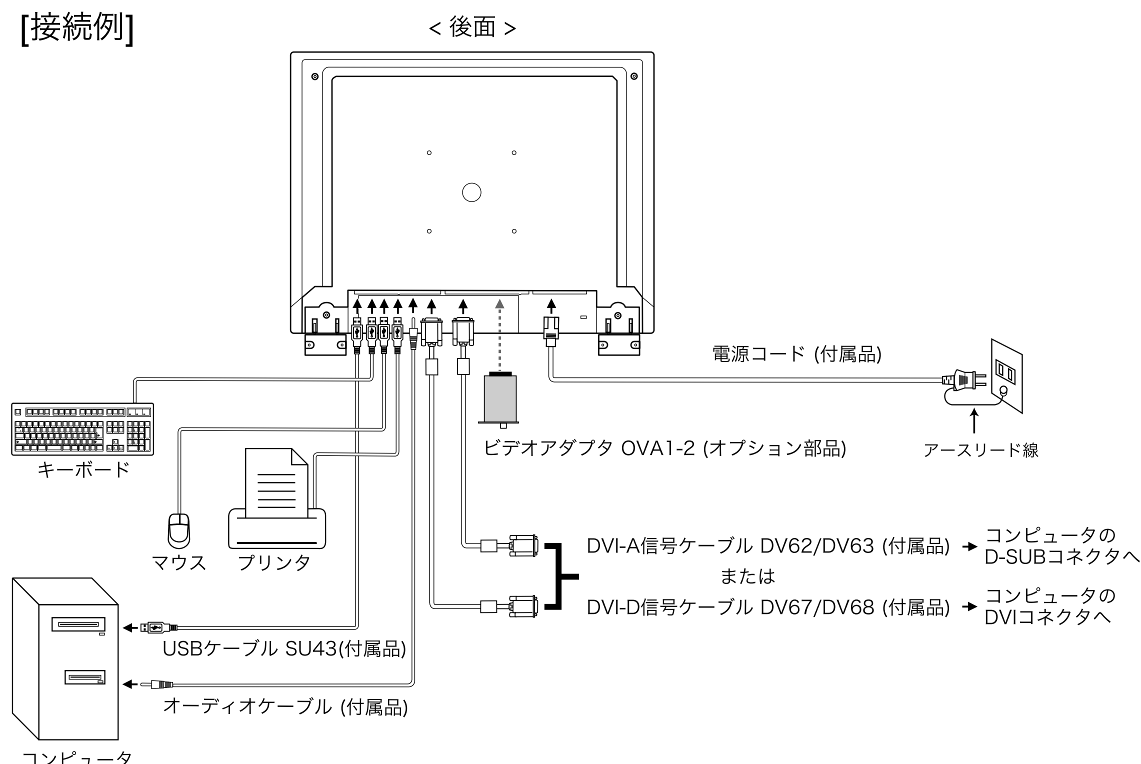
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ USB機能を使用する場合は、USBケーブルをモニタとUSB対応コンピュータに接続します。

④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。

⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]



アダプタ等の品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機（DOS/V） IBM	D-SUB ミニ15ピン	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 （付属品）		DVI-I 29ピン
NEC PC98				
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 （付属品）	
Macintosh*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 （付属品）	
AT互換機（DOS/V） IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン*2	DVI-D信号ケーブル*4 DV67/DV68 （付属品）		
Macintosh				

ビデオアダプタ	ビデオ入力が可能になります。 OVA1-2
保護シート	液晶パネルの表面を、汚れや傷から保護します。 パーツNo.832Z001-07

補足 *1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

*2 DVI-I 29ピン接続時は、デジタル信号のみの対応となります。

*3 アナログ信号のみ対応可能なケーブルです。

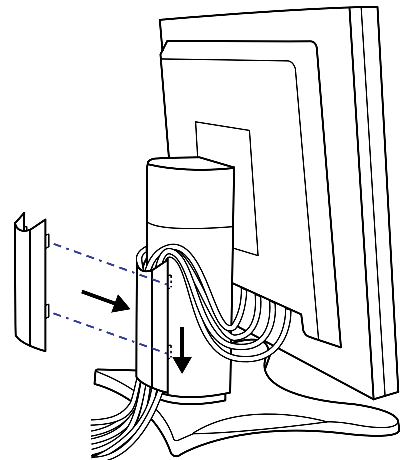
*4 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

日本語

[ケーブルの配線方法]

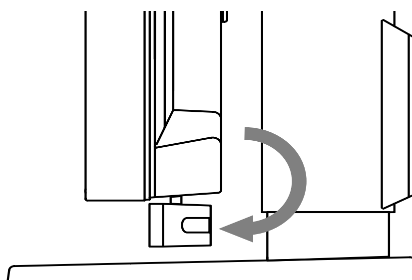
① ケーブルをスタンド後部で束ねます。

② 付属のケーブルカバーをスタンド後部の穴に差し込み、下方向にスライドさせて取り付けます。



スピーカーの準備

下図の様にスピーカーを前方へ回転させます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.28「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ＆プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ＆プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合があります。インストール方法については、インフォメーションCD内の「インフォメーションファイル」をご覧ください。

補足 MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカ等にお問い合わせください。

インフォメーションCDについて

●Windows

Windowsでご使用いただく際は、CDをパソコンにセットするとCDが自動再生します。

●Macintosh

Macintoshでご使用いただく際は、CDをパソコンにセットしてもCDは自動再生しません。CD内の「index.html」ファイルをクリックしてください。

●動作環境

■インフォメーションCDはMicrosoft® Internet Explorer 5.5以上で最適化されています。

■Netscape等では正しく表示されない場合がありますので、 予めご了承ください。

■Linux環境での動作保証はしておりません。インフォメーションCDをご使用いただく際は、「for_Linux.txt」ファイルをご参照ください。

■画面調整プログラムご使用の際、テストパターン前面にメニュー画面が表示されない場合は、「Alt」＋「Tab」キーを押し、【モニタチェック】画面を表示させてください。

■ご使用のパソコンにmacromedia®「Flash Player™」がインストールされていない場合は、インフォメーションCDのオープニング映像をご覧になることができません。インストールはmacromediaのサイトから「Flash Player」をダウンロードして行ってください。

■ご使用のパソコンにAdobe®「Acrobat® Reader™」がインストールされていない場合は、取扱説明書をご覧になることができません。インフォメーションCD内の「取扱説明書」にある「Get Acrobat Reader」でインストールを行ってください。

●言語選択

インフォメーションCD起動時のメニュー画面は、英語表示になっています。「Select your language」のプルダウンメニューからご使用の言語を選択してご覧ください。

日本語

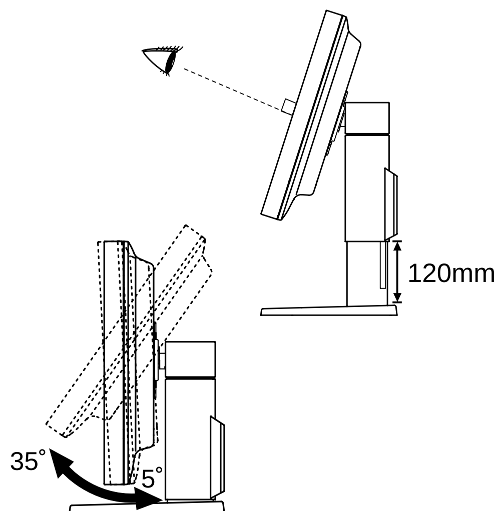
パネルの高さ／角度調節



■ 調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

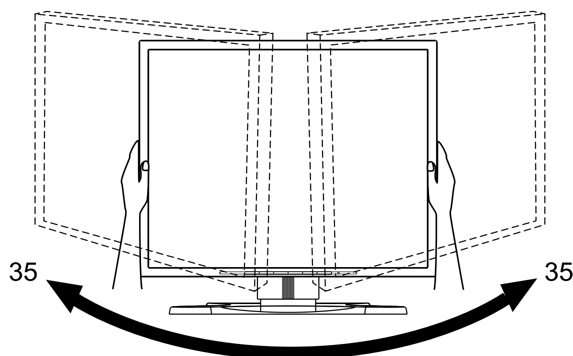
■ 高さ調節を最小にし、角度調節を下方向で使用する場合は、スピーカーを格納してご使用ください。スピーカーを格納しないで使用すると、スピーカーがスタンドに接触して破損の原因になることがあります。



■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。

■ 高さ調節範囲は120mm、角度調節範囲は左右各35˚ 、上方向35˚ 、下方向5˚ です。



日本語

パネルの回転方法

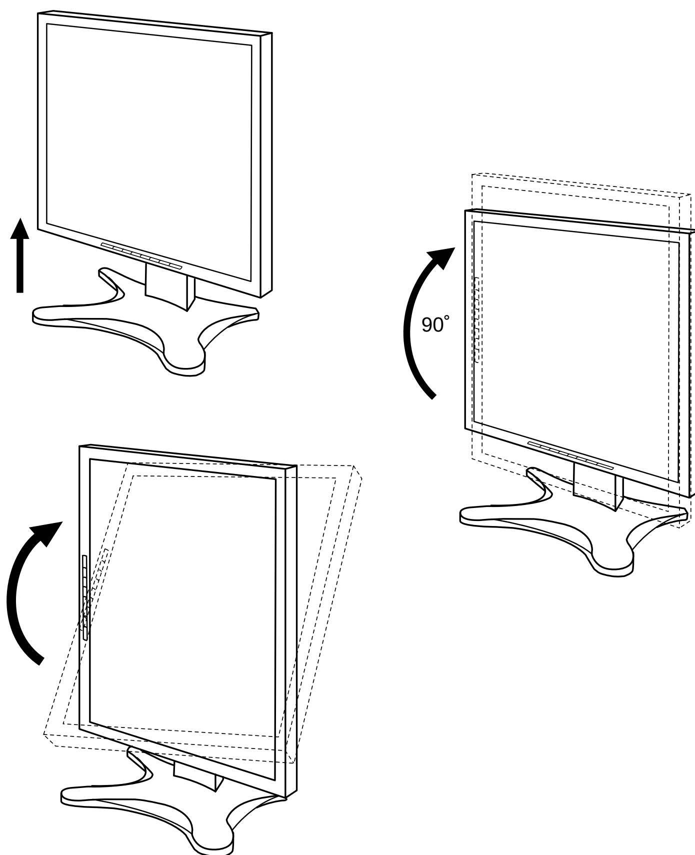
① パネルの高さを最大にしてください。

② パネルを90˚ 回転させます。
横長→縦長：時計回り
縦長→横長：反時計回り

補足 ■ 無理に回転させようとすると、回転機構を破損する原因になります。

■ パネルを縦長で使用するときは付属のPivot® software をご使用ください。

③ お好みの角度に調節してください。

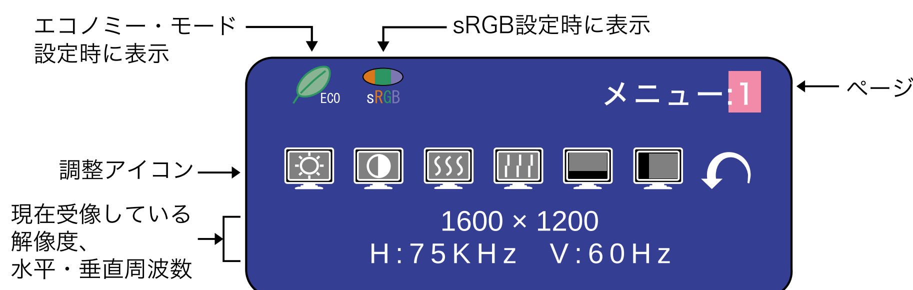


操作手順

P.28の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

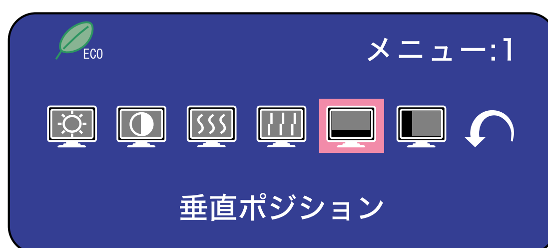
① メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。プラス／マイナスボタンでページを送ります。



② 調整したいアイコンがあるメニュー画面（ページ）を表示し、メニューボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、プラス／マイナスボタンで調整するアイコンを選択します。

③ 再びメニューボタンを押し、プラス／マイナスボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：1のページを表示させ、メニューボタンを押します。次にプラス／マイナスボタンで （垂直ポジション）を選択し、メニューボタンを押します。



調整画面が表示されますので、プラス/マイナスボタンでお好みの画面に調整します。



補足

- ■ 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
- ■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- ■ クロック，フェーズ，ポジションの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語選択（Language）で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライトネス：　メニュー画面を表示していない時に、ブライトネス調整（プラス）ボタンを押します。
- コントラスト：　メニュー画面を表示していない時に、コントラスト調整（マイナス）ボタンを押します。
- 自動調整：　AUTOボタンを押します。
- 入力信号切り替え：　INPUTボタンを押します。
- 音量調整：　メニュー画面を表示していない時に、プラス / マイナスボタンを押してから、すぐにメニューボタンを押します。

補足 **ブライトネス/コントラスト/音量調整の切り替え**

ダイレクト調整中、ブライトネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押すたびに、ブライトネス，コントラスト，音量調整の調整画面を切り替えることができます。

→ブライトネス → コントラスト → 音量調整

入力信号切り替え（IN1 / IN2）

IN1とIN2の信号が同時に入力されている時、INPUTボタンを押すたびにIN1とIN2を交互に切り替えることができます。

日本語

調整項目	画面の状態／調整ボタン
音量調整 Volume ダイレクト調整	音量が小さい　+ 音量が大きい　−

補足 ダイレクト調整でのみ調整可能です。

アナログ入力時

メニュー：1
（アナログ入力）

調整項目	画面の状態／調整ボタン
ブライトネス*1 Brightness ダイレクト調整	暗すぎる → + 明るすぎる → −
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる → + 強すぎる → −
クロック*2 Clock	模様や文字が にじんだり，ちらついている → + −
フェーズ*2 Phase	模様や文字が にじんだり，ちらついている → + −
垂直ポジション V-Position	下によっている → + 上によっている → −
水平ポジション H-Position	左によっている → + 右によっている → −
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります

*1　暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

*2　調整方法および手順については、P.21「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整　ダイレクト調整については、P.13「ダイレクト調整」を参照してください。

日本語

メニュー：2
（アナログ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）		
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）		
	ユーザー	MENU	Red Green Blue	弱すぎる ＋ 強すぎる －
	sRGB	sRGBモードになります		

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBでは、ブライトネス，コントラスト，ガンマ補正，エコノミー・モードが固定値となり調整できません。

調整項目	画面の状態／調整ボタン			
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル		
	ハイコント	ハイコントラスト		
	ダーク	ダーク		
カラーマトリックス Color Matrix	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）		
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）		
	ユーザー	MENU	Red C1 Red C2 Green C1 Green C2 Blue C1 Blue C2	濃くする ＋ 淡くする －
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5 ＋ － 1～5（ソフト→シャープ）まで設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。			
エコノミー・モード Economy Mode	オフ	ノーマル画面		
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン		
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります			

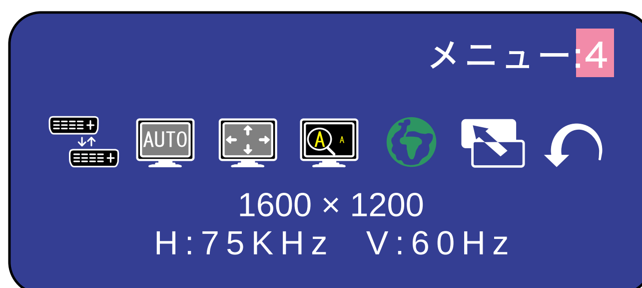
メニュー：3
（アナログ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5 1～5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	
OSDオフタイマー OSD Off Timer	3～60秒までのOSDのオフタイマーを設定します	
OSD回転 OSD Rotation	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	メニュー画面を左に90° 回転します
補足　パネルを縦長（90° 回転）で使用する時に、ご使用ください。		
キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります
	オン	すべての調整をロックします
補足　キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。		
鏡反転 H-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	左右を反転した画面を表示します
180° 回転 V-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	180° 回転した画面を表示します
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります	

日本語

メニュー：4
（アナログ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をInput1入力に切り替えます		
	IN2	映像をInput2入力に切り替えます		
	S Video*1	映像をS ビデオ入力に切り替えます		
	Video*1	映像をビデオ入力に切り替えます		
自動調整*2 Auto Set-up ダイレクト調整	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	クロック,フェーズ,垂直ポジション,水平ポジションの4項目を自動で調整します		
補足　調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。（約5秒）				
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4：3のノーマル画面表示		
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示		
	フル	拡大表示		
ズーム Zoom	Zoom In	画面を拡大します	☛ +	
	Zoom Out	戻します	☛ −	
	☛ MENU 水平ポジション	ズームポイント右側へ移動	☛ +	
		ズームポイント左側へ移動	☛ −	
	☛ MENU 垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動	☛ +	
		ズームポイント上側へ移動	☛ −	
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻します		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：4に戻ります			

*1 オプションビデオ入力時のみ対応します。「付録B」を参照してください。

*2 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.21「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整　ダイレクト調整については、P.13「ダイレクト調整」を参照してください。

デジタル入力時

メニュー：1
（デジタル入力）

メニュー：1

1600 × 1200
H:75KHz　V:60Hz

調整項目	画面の状態／調整ボタン		
ブライトネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる		+
	明るすぎる		−
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる		+
	強すぎる		−
カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）	
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）	
	ユーザー	MENU → Red / Green / Blue　弱すぎる	+
		強すぎる	−
	sRGB	sRGBモードになります	

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBでは、ブライトネス，コントラスト，ガンマ補正，エコノミー・モードが固定値となり調整できません。

調整項目	画面の状態／調整ボタン	
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル
	ハイコント	ハイコントラスト
	ダーク	ダーク
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5 （+ / −） 1～5（ソフト→シャープ）まで設定されています。プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	
エコノミー・モード Economy Mode	オフ	ノーマル画面
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります	

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

ダイレクト調整　ダイレクト調整については、P.13「ダイレクト調整」を参照してください。

日本語

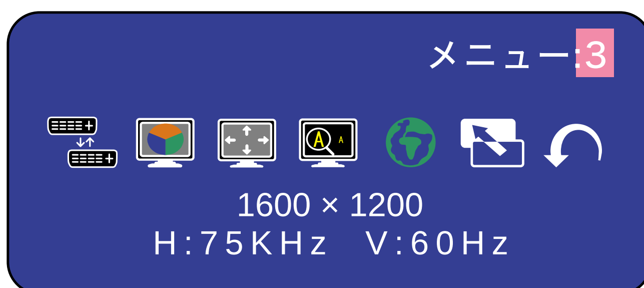
メニュー：2
（デジタル入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5 1～5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	+ / − 1 2 3 4 5
OSDオフタイマー OSD Off Timer	3～60秒までのOSDのオフタイマーを設定します	+ / −
OSD回転 OSD Rotation	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	メニュー画面を左に90˚ 回転します
補足 パネルを縦長（90˚ 回転）で使用する時に、ご使用ください。		
キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります
	オン	すべての調整をロックします
補足 キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。		
鏡反転 H-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	左右を反転した画面を表示します
180˚ 回転 V-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	180˚ 回転した画面を表示します
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります	

日本語

メニュー：3
（デジタル入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をInput1入力に切り替えます		
	IN2	映像をInput2入力に切り替えます		
	S Video*	映像をS ビデオ入力に切り替えます		
	Video*	映像をビデオ入力に切り替えます		
カラーマトリックス Color Matrix	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）		
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）		
	ユーザー	MENU	Red C1 Red C2 Green C1 Green C2 Blue C1 Blue C2	濃くする + 淡くする −
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4：3のノーマル画面表示		
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示		
	フル	拡大表示		
ズーム Zoom	Zoom In Zoom Out	画面を拡大します + 戻します −		
	MENU 水平ポジション	ズームポイント右側へ移動 + ズームポイント左側へ移動 −		
	MENU 垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 + ズームポイント上側へ移動 −		
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻します		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります			

* オプションビデオ入力時のみ対応します。「付録B」を参照してください。

ダイレクト調整　ダイレクト調整については、P.13「ダイレクト調整」を参照してください。

画面の調整

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1600×1200の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1600×1200未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1600×1200の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」にして30分以上経ってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法としてクロック，フェーズ，ポジションを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。
いずれも付属のインフォメーションCDに収録されている「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

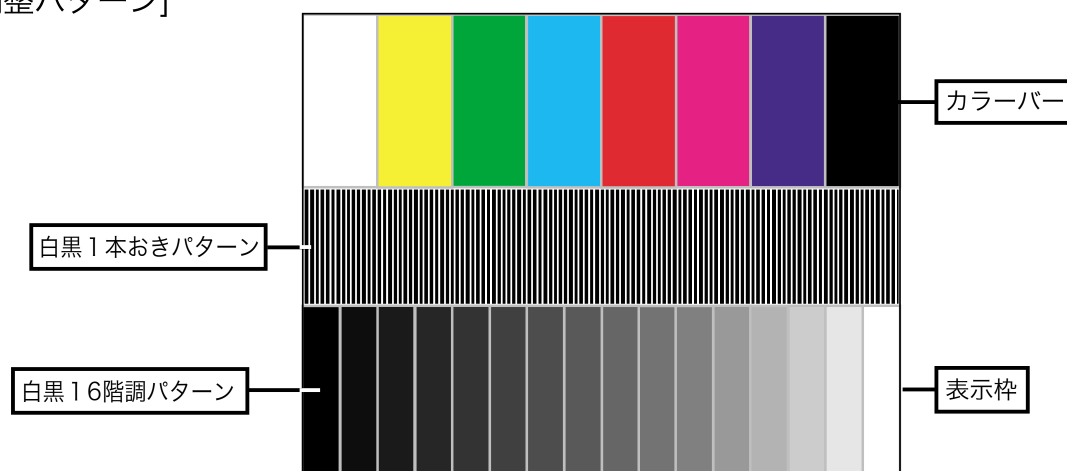
日本語

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

① インフォメーションCDの「画面調整プログラム」を起動します。

② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

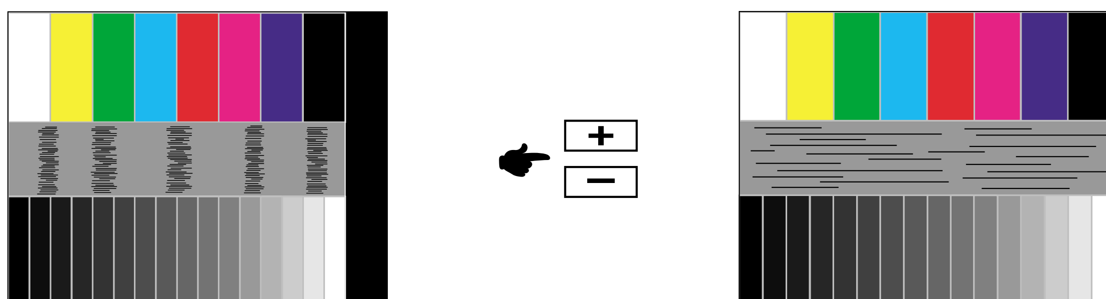
[調整パターン]



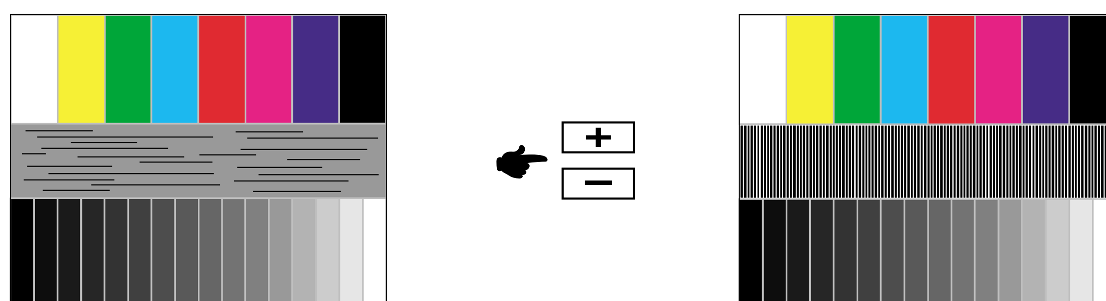
③ 自動調整ボタンを押します。

④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

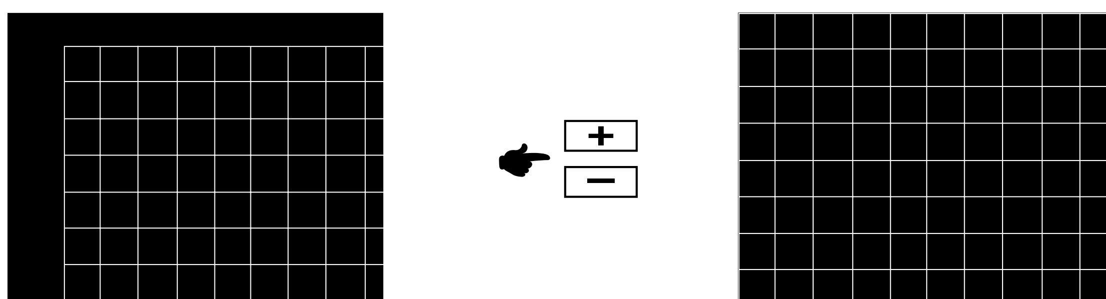
⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの水平ポジション, 垂直ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



日本語

補足

■ クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平ポジションを交互に調整してください。

■ クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。

■ クロック, 水平ポジション, 垂直ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

■ クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

■ フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く（60Hz）設定し、③から調整を行ってください。

■ フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

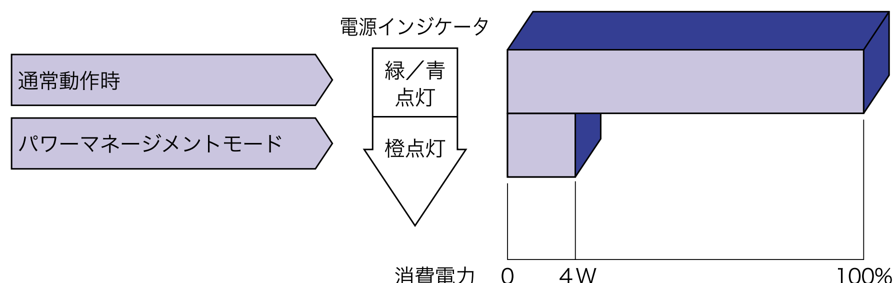
⑧ **最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス, コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。**
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 4W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足 ■ パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

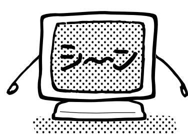
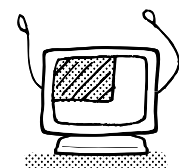
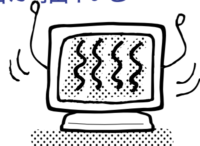
■ 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「 操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (インジケータ点灯せず)	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(インジケータ緑色/青色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ ブライトネスおよびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(インジケータ橙色) 	□ パワーマネージメント状態ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 入力信号の選択は合っていますか？ 入力信号切り換えを行ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている 	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている 	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる 	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング



警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

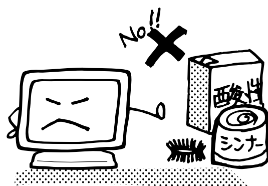


注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



・シンナー
・ベンジン
・研磨剤
・スプレークリーナー
・ワックス
・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

付録 A

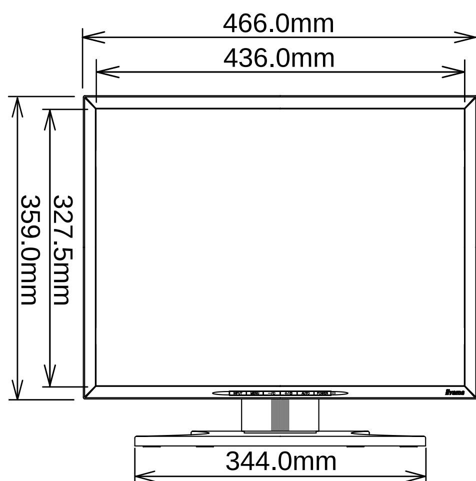
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

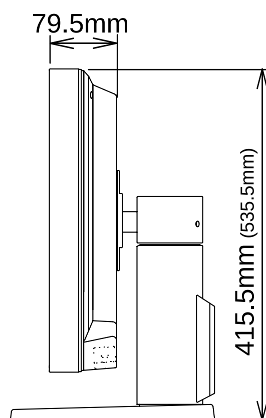
一般仕様

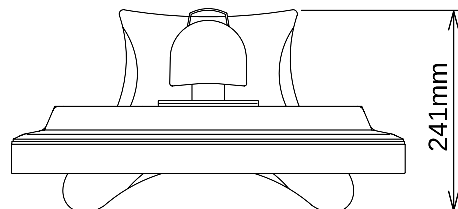
液晶パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：54cm/21.3″
	画素ピッチ	水平 0.27mm×垂直 0.27mm
	輝度	280cd/m²（標準）
	コントラスト比	500：1（標準）
	視野角	上下左右各85°（標準）
	応答速度	20ms（黒→白→黒）
最大表示色		1677万色
走査周波数		水平：24.0～80.0kHz　垂直：56～85Hz
ドットクロック		162MHz（最大）
解像度		1600×1200（最大），2MegaPixels
信号入力コネクタ		デュアルDVI-I29ピンコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC2B™
入力同期信号		セパレート同期：　TTL，正極性/負極性 コンポジット同期：TTL，正極性/負極性 シンク・オン・グリーン：0.3Vp-p，負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p（標準），75Ω，正極性 デジタル：DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠
最大表示範囲		水平：432mm　垂直：324mm
USB規格 コネクタ形状		Rev. 2.0/1.1適合 セルフパワードハブ Upstream：シリーズB，Downstream(周辺機器側)：シリーズA
USB内蔵ポート数		1Upstream(コンピュータ側)，4Downstream(周辺機器側)
音声入力コネクタ		φ3.5mmステレオミニジャック
入力音声信号		0.7Vrms（最大）
スピーカー		1.0W×2（アンプ付きステレオスピーカー）
ヘッドホン端子		φ3.5mmステレオミニジャック
入力電源 消費電力		AC100～230V 50/60Hz 0.7～0.35A 70W（最大）　パワーマネージメントモード時：4W（最大）*
外形寸法, 重量		466.0 × 415.5 ～ 535.5 × 241（幅×高×奥行）mm，10.0kg
角度調節範囲		左右各35°　上方向35°　下方向5°
環境条件		動作時の温度：　5～35℃ ・・時の温度：　－20～60℃ 湿度（－20～50℃未満時）：　20～85％（結露なきこと） 湿度（50～60℃時）：　20～55％（結露なきこと）
適合規格		TCO’03 (ProLite H540S)，TCO’99 (ProLite H540S-B)，CE, TUV-GS/MPRⅢ（prEN50279）/ISO 13406-2, FCC-B, UL/C-UL, VCCI-B

補足 * USB/オーディオ機器未接続時。

外形寸法図







（　）：高さ調節最大時

日本語

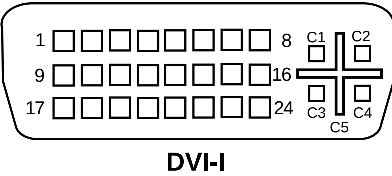
対応信号タイミング

ビデオモード			水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
VESA	VGA	640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz	
			37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz	
			37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz	
			43.269kHz	85.008Hz	36.000MHz	
	SVGA	800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz	
			37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	
			48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz	
			46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	
			53.674kHz	85.061Hz	56.249MHz	
	XGA	1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	
			56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz	
			60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	
			68.677kHz	84.997Hz	94.500MHz	
	SXGA	1152×864	67.500kHz	75.000Hz	108.000MHz	＊
		1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz	
			79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz	
	UXGA	1600×1200	61.750kHz	50.000Hz	132.390MHz	
			75.000KHz	60.000Hz	162.000MHz	
VGA TEXT		720×400	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz	＊
			37.927kHz	85.039Hz	35.500MHz	＊
Macintosh		640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz	＊
		832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz	＊
		1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz	＊
PC9801		640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz	＊
SUN66		1152×900	61.846kHz	66.004Hz	94.500MHz	＊

補足　＊のタイミングはDVIに対応しておりません。

信号入力コネクタのピン配列

■ DVI-I 29ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2−	16	Hot Plug Detect
2	T.M.D.S Data2+	17	T.M.D.S Data0−
3	T.M.D.S Data2/4接地	18	T.M.D.S Data0+
4	NC	19	T.M.D.S Data0/5接地
5	NC	20	NC
6	クロックライン(SCL)*	21	NC
7	データライン(SDA)*	22	T.M.D.S Clock接地
8	アナログ垂直同期	23	T.M.D.S Clock+
9	T.M.D.S Data1−	24	T.M.D.S Clock−
10	T.M.D.S Data1+	C1	アナログ赤
11	T.M.D.S Data1/3接地	C2	アナログ緑
12	NC	C3	アナログ青
13	NC	C4	アナログ水平同期
14	+5V Power	C5	アナログ接地
15	接地		

*VESA DDC 規格に準拠

日本語

付録 B

オプションビデオ入力時

このメニューは、オプションビデオアダプタが取り付けられたときのみ表示されます。
アナログ/デジタル入力設定からビデオ入力へは自動的に切り替わりません。メニューの入力信号切り替え、またはINPUTボタンにて切り替えてご使用ください。（パワーマネージメント時はMENUボタンを押すと入力信号切り替え画面が表示されます。）

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライトネス：　メニュー画面を表示していない時にブライトネス調整（プラス）ボタンを押します。
- コントラスト：　メニュー画面を表示していない時にコントラスト調整（マイナス）ボタンを押します。
- 入力信号切り替え：INPUTボタンを押します。
- 映像ロック：　メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押します。
- 音量調整：　メニュー画面を表示していない時に、プラス / マイナスボタンを押してから、すぐにメニューボタンを押します。

補足 **ブライトネス/コントラスト/音量調整の切り替え**

ダイレクト調整中、ブライトネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押すたびに、ブライトネス，コントラスト，音量調整の調整画面を切り替えることができます。

→ブライトネス →コントラスト → 音量調整

映像ロック

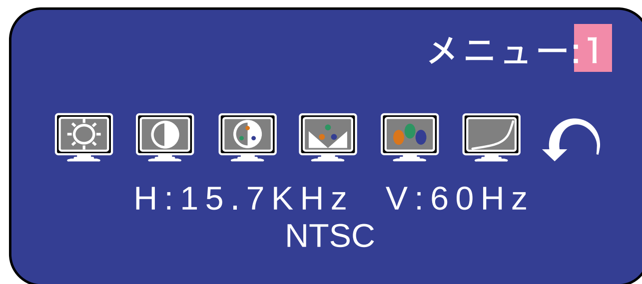
メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押すと、“Now, Frame was Locked.”が表示され、画面に表示されている映像をロックすることができます。もう一度AUTOボタンを押すと解除されます。

調整項目	画面の状態／調整ボタン
音量調整 Volume ダイレクト調整	音量が小さい → + 音量が大きい → −

補足 ダイレクト調整でのみ調整可能です。

日本語

メニュー：1
（ビデオ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
ブライトネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる			+
	明るすぎる			−
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる			+
	強すぎる			−
カラー Color	色が薄い			+
	色が濃い			−
色あい Hue	色が紫がかっている			+
	色が緑がかっている			−
カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）		
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）		
	ユーザー	MENU	Red / Green / Blue	弱すぎる + / 強すぎる −
	sRGB	sRGBモードになります		

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBでは、ブライトネス，コントラスト，ガンマ補正，エコノミー・モードが固定値となり調整できません。

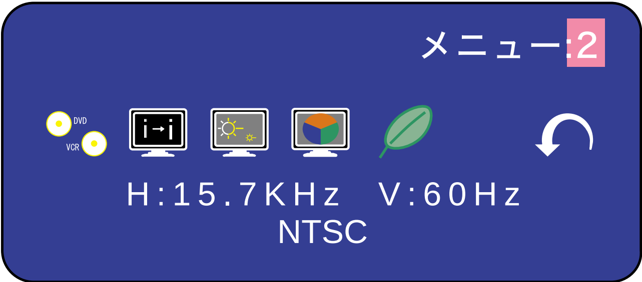
調整項目		
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル
	ハイコント	ハイコントラスト
	ダーク	ダーク
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります	

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.30「ダイレクト調整」を参照してください。

日本語

メニュー：2
（ビデオ入力）



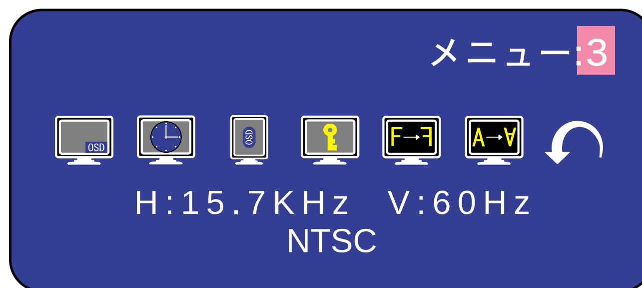
調整項目	画面の状態／調整ボタン			
入力ソース Input Source	DVD	通常はこの設定でご使用ください。		
	VCR	表示画面が曲がったり、揺れたりする場合はこの設定にしてご使用ください。		

補足　接続する映像機器によっては表示画面が曲がったり、揺れたるすることがあります。その場合は設定を変更してみてください。また、TV放送や傷んだビデオテープの信号を入力した場合、正常に表示できないことがあります。

調整項目	画面の状態／調整ボタン			
画質調整 Picture Quality	1 2 3 4 5 1～5（ソフト→クリア）まで設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。			+ / −
シャープネス Sharpness	画面がボケている			+
	画面がザラザラしている			−
カラーマトリックス Color Matrix	9300K	やや青みがかったホワイト（約9300K）		
	6500K	やや赤みがかったホワイト（約6500K）		
	ユーザー	MENU	Red C1 Red C2 Green C1 Green C2 Blue C1 Blue C2	濃くする + 淡くする −
エコノミー・モード Economy Mode	オフ	ノーマル画面		
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン		
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります			

日本語

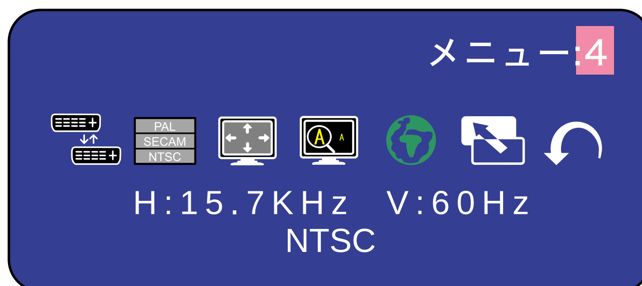
メニュー：3
（ビデオ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5 1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	
OSDオフタイマー OSD Off Timer	3~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します	
OSD回転 OSD Rotation	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	メニュー画面を左に90°回転します
補足 パネルを縦長（90°回転）で使用する時に、ご使用ください。		
キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります
	オン	すべての調整をロックします
補足 キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。		
鏡反転 H-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	左右を反転した画面を表示します
180°回転 V-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	180°回転した画面を表示します
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります	

日本語

メニュー：4
（ビデオ入力）



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をInput1入力に切り替えます		
	IN2	映像をInput2入力に切り替えます		
	S Video	映像をS ビデオ入力に切り替えます		
	Video	映像をビデオ入力に切り替えます		
放送方式 Color System	自動	放送法式を自動的に切り替えます。通常はこの設定でご使用ください。		
	NTSC	放送法式をNTSCに強制的に切り替えます。		
	PAL	放送法式をPALに強制的に切り替えます。		
	SECAM	放送法式をSECAMに強制的に切り替えます。		
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4：3のノーマル画面表示		
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示		
	フル	拡大表示		
ズーム Zoom	Zoom In	画面を拡大します (+)		
	Zoom Out	戻します (−)		
	MENU 水平ポジション	ズームポイント右側へ移動 (+) ズームポイント左側へ移動 (−)		
	MENU 垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 (+) ズームポイント上側へ移動 (−)		
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻します		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：4に戻ります			

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.30「ダイレクト調整」を参照してください。

日本語

メニュー:P-in-Pは、オプションビデオアダプタが取り付けられたときのみ、アナログ入力，デジタル入力時も使用できます。

メニュー：P-in-P*
（P-in-P入力）

メニュー:P-in-P
H:15.7KHz V:60Hz
NTSC

調整項目	画面の状態／調整ボタン	
P in P ON P in P On	オフ	P in P機能をオフにします
	小	サブ画面のサイズを最小にします
	中	サブ画面のサイズを標準にします
	大	サブ画面のサイズを最大にします
P in P 入力切替 P in P Input	S Video	Sビデオの映像をサブ画面に映します
	Video	ビデオの映像をサブ画面に映します
P in P ポジション P in P Position	1 2 3 4 5 1～5までサブ画面の移動位置が設定されています。プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	+ / − (1 4 3 2 5)
P in P シャープネス P in P Sharpness	サブ画面がボケている	+
	サブ画面がザラザラしている	−
P in P カラー P in P Color	サブ画面の色が薄い	+
	サブ画面の色が濃い	−
P in P 色あい P in P Hue	サブ画面の色が紫がかっている	+
	サブ画面の色が緑がかっている	−
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：P-in-Pに戻ります	

* コンピュータとオーディオ機器をモニタに接続している時に使用できます。

P-in-P＝ピクチャー・イン・ピクチャー：
コンピュータ画像を大画面で映しながら、DVD／ビデオなどの映像をサブ画面（小画面）に映すことができます。

日本語

パワーマネージメント機能

本製品を使用してビデオ入力に対応している場合でもパワーマネージメント機能は有効です。ビデオ機器からの信号がなくなると、パワーマネージメントモード（消費電力 4W）となり、電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でビデオ機器から信号が入力されると、数秒後に画面は表示され通常動作状態に戻ります。

オプションビデオ入力の仕様

信号入力コネクタ	RCAピンジャック S 映像端子
入力映像信号	ビデオ*： NTSC, PAL, SECAM

補足　* 一部対応していない方式もあります。

日本語